

修了生の活躍事例

修了生の三浦さんにインタビュー

Q1.ポリテクセンターをどのように知りましたか？

A.ハローワーク。

Q2.金属加工科を受講しようと思った理由は？

A.手に職（技）をつけられると思ったから。

Q3.就職先の決め手は？

A.これから残る仕事だから。

Q4.ポリテクセンターでの訓練はいかがでしたか？

A.金属の切断はとても印象に残っている。

株式会社ダイワ

三浦 莞爾 さん (23)

[⇒ 前職：接客(正規)]

金属加工科
(6か月訓練)

令和3年10月 入所
令和4年 3月 修了



一人前になりたい

入社して8か月になります。今、担当している業務は樹脂溶接です。ポリテクセンターでは金属の溶接を学んでいましたが、工場見学で樹脂溶接にも学んできたことを活かせる声をかけてもらいました。先輩からのご指導のもと、今では一人で製品を作れるようになりました。仕事をしていて、“溶接全般は楽しい！”と思っていますし、金属加工科で学んだ道具の使い方は特に役に立っていると感じています。ポリテクセンターでの学びが基盤となり、今の仕事を極めることができます。将来の目標は“一人前になる”ことです。

就職先企業

採用者の声

製造部 部長 原田 賢一 様
工場長

ポリテクセンターを修了した方は、技術的には理解が早く、戦力化しやすいです。三浦さんは金属溶接のコースでしたが、溶接の基礎知識や技術があるならば、樹脂溶接での採用もできると考え、声をかけました。技術はやる気がなければ身に付かない。わからなければわかるまで聞く姿勢が大事だと思います。是非ポリテクセンターで身に付けた技術を製造に活かしてほしいです。



株式会社ダイワ（長野県松本市）

現在ポリテクの修了生6名が活躍

事業内容

各種プラスチック素材の販売、看板用資材、内外装建築材料の販売、LED製品の販売、家庭用・業務用電化製品の販売、プラスチック樹脂加工、塩ビ・PPの溶接加工、プラスチック樹脂研磨、マイクロ平行板の加工、高精度の試作加工、断熱材料の加工、検査治具絶縁体の加工、クローンプースの設計、製作、セーフティカバーの設計、製作